学校番号	101

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理・表現Ⅰ	2	第１学年	・Revised Applause I English Logic and Expression（開隆堂出版） ・Harmony English Grammar 23（いいずな書店） ・Harmony English Grammar 23 Workbook（いいずな書店） ・Data Base 3300 基本英単語・熟語(桐原書店)

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書の題材は、身近に感じることができる日常的な話題や社会的な話題などバラエティに富んだ内容になっています。モデルとなる会話文やパラグラフを読んで、英語を通じて積極的にコミュニケーションを図りましょう。基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持などを伝え合ったり、論理の構成や展開を工夫したりするなど、文章を書いて伝えましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】履修科目：「論理・表現Ⅰ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した副教材

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や家族、学校など身の回りのことについて聞き取ることができる。 ・ゆっくりはっきりと話される基本的な英文を１文聞き取った後でリピートすることができる。	・簡単な語や表現で書かれた短い物語や身近なトピックに関する短い文章を挿絵や写真を参考にしながら理解することができる。 ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読むことができる。	・天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、決まった表現や形式を用いて尋ねたり答えたりすることができる。	・前もって準備した上で、決まった表現や形式を用いて自分や他人のことを紹介することができる。	・簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なことについて複数の文を書くことができる。 ・学習した文法事項などの知識を活用して、場面、状況に応じた正しい文を書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で，概念等として理解したり技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組みの中で、自らの学習を調整しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Lesson 1 My Hero Lesson 2 Plans for the Weekend	聞くこと	a: 現在形・現在進行形を用いた情報を正しく聞き取ることができる。 過去形・過去進行形を用い、友人があこがれている人の内容を正しく聞き取ることができる。未来を表す文の内容が正しく理解できる。 b: 相手の説明に対して、内容を正しく聞き取り、適切なあいづちで応答することができる。 c: モデル会話の人物になりきって、相手があこがれているのがどのような人物か、また週末の予定について理解しようとしている。 グループ内での発表に対して、ほかのメンバーの発表を聞きとり、内容や情報を理解しようとしている。	グループワーク・ インタビュー テスト
		読むこと	a: 現在形・現在進行形を用いた情報が書かれたひとまとまりの英文を、正しく読み取り、内容を理解することができる。 過去形・過去進行形を用いた、友人があこがれている人の内容を、正しく読み取り、内容を理解することができる。 未来形を用いて、週末の予定について表す内容を理解できる。 b: 相手の説明に対して、内容を正しく読み取り、適切なあいづちや応答を選択することができる。 c: モデル会話の人物になりきって，相手があこがれているのがどのような人物か、週末の予定を読み取り、理解しようとしている。 グループ内での発表に対して、ほかのメンバーの発表の内容や情報を正しく理解しようとしている。	定期考査・ 小テスト
		話すこと （やり取り）	a: 現在形・現在進行形を適切に用いて、会話できる。 あいづちの表現を適切に用いて、会話を続けることができる。 過去形・過去進行形を適切に用いて、会話できる。 未来形を適切に用いて、会話できる。 b:事柄や話題について，内容を整理し，現在・過去進行形などを用いて伝えたり，相手からの質問に答えたりできる。 c:過去から現在にわたり友人があこがれている人について、ほかのメンバーの発表を聞いて質問したり感想を伝えたりできる。	インタビュー テスト
		話すこと （発表）	a: 現在形・現在進行形を適切に用いて、自分のあこがれている人について説明することができる。 過去形・過去進行形を適切に用いて、自分のあこがれている人ついて説明することができる。 未来形を用いて週末の予定について話したり質問したりできる。 b: 自分のあこがれている人について、新しいクラスメイトに知ってほしいことを整理して、紹介をすることができる。 c:発表の冒頭・しめくくりでは，クラスメイトに対し，語りかけるようにあいさつを述べることができる。	プレゼン テーション

	書くこと	abc: 状態動詞・動作動詞の現在形を用いて、正しく英文を書くことができる。 頻度を表す副詞を適切な位置に配して、正しく英文を書くことができる。 現在進行形が表す時制を正しく理解し、状況を表す英文を書くことができる。 未来形を用いて、正しく英文を書くことができる。	定期考査・小テスト
中間考査			
Lesson 3 Tips for Foreign Tourists Lesson 4 My own Experiences	聞くこと	a: 助動詞を用いた会話を正しく聞き取り、質問や助言に関する表現を理解することができる。 現在完了形を用いた会話やスピーチを正しく聞き取り, 完了したことや経験したこと、継続的にしていることについて理解することができる。 b:ルールや注意事項、これまでの経験に関する英文の内容を正しく聞き取り、適切な応答かどうかを判断することができる。 旅行・体験についての発表やペアのやりとりを正しく聞き取り、その内容を理解することができる。 c: モデル会話の人物になりきって, 内容を正しく聞き取り、適切な応答かどうかを判断しようとしている。 助動詞・完了形を正しく理解し、その内容を聞き取ろうとしている。	授業観察・小テスト
	読むこと	a:助動詞を用いた英文を、正しく読み取り、内容を理解することができる。 現在完了形を用いた会話やスピーチを正しく読み取り、完了したことや経験したこと，継続的にしていることについて理解することができる。 b: ルールや注意事項、これまでの経験に関する英文の内容を正しく読み取り、適切な応答かどうかを判断することができる。 旅行・体験についての発表やペアのやりとりを正しく読み取り、その内容を理解することができる。 c: モデル会話の人物になりきって，内容を正しく聞き取り、適切な応答かどうかを判断しようとしている。観光の際の注意事項や旅行・体験についてペアのやりとりが書かれた英文を読み取り、その内容を理解しようとしている。	定期考査
	話すこと （やり取り）	a:助動詞や完了形の表現を適切に用いて、会話できる。 あるトピックに沿って、相手に質問を投げかけて、会話のきっかけをつくることができる。 b: 事柄や話題について内容を整理し、助動詞や完了形を含んだ表現を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 事柄や話題について, 内容を整理し、助動詞や現在完了形を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる c: モデル会話の人物になりきって内容を正しく聞き取り、適切な応答かどうかを判断しようとしている。観光の際の注意事項や旅行・体験についてペアのやりとりが書かれた英文を読み取り、その内容を理解し、適切に答えることができる。	インタビューテスト
	話すこと （発表）	a:助動詞や完了形の表現を適切に用いて、注意事項や経験を紹介する際の展開が理解できる。 現在完了形を適切に用いて、完了したことや経験したこと、継続的にしていることについて説明することができる。 b:助動詞や完了形を用いて、発表をすることができる。 旅行・体験に関する文章を発表したり質問に答えたりすることができる。 c: 学級で自分と友だちの経験を紹介するために、それぞれの経験を述べるとともに、それらを比較しながら、自分が今後やってみたいと感じたことなどの情報を整理し、まとまりのある内容をわかりやすい英語で表現し、前向きに根気よく話そうとしている。	プレゼンテーション

		書くこと	abc:助動詞と完了形を用いて、正しく英文を書くことができる。自分と友だちの経験を紹介するために、それぞれの経験を述べるとともに、それらを比較しながら、自分が今後やってみたいと感じたことなどの情報を整理し、英語表現をわかりやすくしようと努めている。	定期考査
	期末考査			
2	Lesson 5 Popular Foods in the World Lesson 6 Guinness World Records Lesson 7 The Best-before Dates Lesson 8 Ready for Disasters	聞くこと	a:受動態、比較、動名詞、不定詞の名詞的用法を用いた会話を正しく聞き取り、好きな日本食、ギネスブックに載せる計画、グラフの情報、台風への備えに関する英文を正しく理解することができる。 b:身近な出来事について述べたり、ある物を説明・紹介したりする英文を正しく聞き取り、それぞれの内容を理解することができる。 c: モデル会話の人物になりきって、身近なものについて伝えたり、ある物を説明・紹介したり、防災に関する英文を聞き取り、それぞれの内容を理解しようとしている。	インタビューテスト・授業観察
		読むこと	a: 受動態、比較、動名詞、不定詞の名詞的用法を用いた会話を正しく聞き取り、好きな日本食、ギネスブックに載せる計画、グラフの情報、台風への備えに関する英文を正しく読み取り、理解することができる。 b: 身近な出来事について述べたり、ある物を説明・紹介したりする英文を正しく読み取り、それぞれの内容を理解した上で、その応答が適切かどうかを判断することができる。 c: モデル会話の人物になりきって、身近なものについて伝えたり、ある物を説明・紹介したり、防災に関する英文を読み取り、それぞれの応答が適切かどうかを判断しようとしている。	定期考査
		話すこと (やり取り)	a: 比較を適切に用いて、会話できる。 受動態を適切に用いて、会話できる。 不定詞・動名詞を適切に用いて、会話できる。 b: 事柄や話題について、内容を整理し、助動詞を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 事柄や話題について、内容を整理し、受動態を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 c: モデル会話の人物になりきって、話すことができる。 ペアになって好きな日本食について説明することができる。 モデル会話の人物になりきって、食品ロスを減らす方法について話すことができる。	インタビューテスト
		話すこと (発表)	abc:比較の様々な形を用いてわかりやすい英語で話すことができる。 不定詞・動名詞を用いて正確に情報が伝わるよう、まとまった内容を話すことができる。 受動態を適切に用いて、だれに・何にされたのか，いつ・どこに～されるか、何かによって引き起こされる喜びや驚きについて話すことができる。	プレゼンテーション
		書くこと	abc: 比較級や最上級に関する知識を活用し、正確にまとまった内容を書くことができる。 受動態に関する知識を活用し、正確に情報が伝わるように、まとまった内容を書くことができる。 動名詞や to 不定詞に関する知識を活用し、正確に情報が伝わるように、まとまった内容を書くことができる。	定期考査
	中間考査			

	Lesson 9 Introducing Japanese Culture Lesson 10 What did You See? Lesson 11 Your Own Special Products Lesson 12 A sight seeing Spot to Recommend	聞くこと	a: 不定詞（形容詞的用法・副詞的用法）、分詞、関係詞を用いた英文を正しく聞き取り、物や出来事・人に対する説明を加える英文や好き嫌いを説明する英文を正しく理解することができる。 b:留学先に持っていきたいおみやげ、最近心に残った出来事、オリジナル製品のアイディア、おすすめの観光地についての英文を正しく聞き取り、それぞれの内容を理解することができる。 c: モデル会話の人物になりきって、物や出来事・人に対する説明を加える英文や製品の特性を説明する英文を聞き取り、それぞれの内容を理解しようとしている。	インタビューテスト・授業観察
		読むこと	a: 不定詞（形容詞的用法・副詞的用法）、分詞、関係詞を用いた英文を正しく読み取り、物や出来事・人に対する説明を加える英文や好き嫌いを説明する英文の内容を理解することができる。 b: 留学先に持っていきたいおみやげ、最近心に残った出来事、オリジナル製品のアイディア、おすすめの観光地について書かれた英文を正しく読み取り、それぞれの内容を理解した上で、それに対する返答・応答や質問が適切かどうかを判断することができる。 c: モデル会話の人物になりきって、物や出来事・人に対する説明を加える英文や製品の特性を説明する英文を読み取り、それぞれの内容を理解しようとしている。	定期考査・小テスト
		話すこと（やり取り）	a: 不定詞を適切に用いて，会話できる。 使役動詞・知覚動詞を適切に用いて、会話できる。 誰かにさせる、誰かができるようにすると伝えることができるようにする。 身につけた分詞の知識を活用し、自分の考えを整理して相手に伝わるよう表現することができる。 b: 事柄や話題について、内容を整理し、使役動詞・知覚動詞を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 事柄や話題について、内容を整理し、分詞を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりできる。 c: 不定詞（形容詞的用法・副詞的用法)、分詞、関係詞を使って自分が話したいと思っている内容が相手に伝わるように、積極的に会話を続けようとしている。	インタビューテスト
		話すこと（発表）	abc: to 不定詞の形容詞的用法や副詞的用法、分詞、関係詞の用法および表現を正確に理解している。日本のお土産の紹介や心に残った出来事の説明、製品紹介や観光地紹介などの情報を整理し、わかりやすい英語で表現し、前向きに根気よく話そうとしている。	プレゼンテーション
		書くこと	abc: to 不定詞の形容詞的用法や副詞的用法、分詞、関係詞の用法および表現を正確に理解している。日本のお土産の紹介や心に残った出来事の説明、製品紹介や観光地紹介などの情報を整理し、まとまりのあるパラグラフを書くことができる。	定期考査・小テスト
	期末考査			
	Lesson 13 I Wish I could	聞くこと	a:仮定法や接続詞を用いた会話を正しく聞き取り、学級での地域や学校をよりよくするためのアイデアを紹介したり、アップサイクル製品の紹介をする英文の内容を正しく理解することができる。 b:自分の住んでいる地域や、おすすめのアップサイクル製品を紹介した英文を正しく聞き取り、それぞれの内容を理解することができる。 c: モデル会話の人物になりきって、自分の住んでいる地域や、おすすめのアップサイクル製品を紹介した英文を聞き取り、それぞれの内容を理解しようとしている。	インタビューテスト・授業観察

3	Lesson 14 What Is “Upcycling”?	読むこと	a: 仮定法や接続詞を用いた会話を正しく読み取り、学級での地域や学校をよりよくするためのアイデアを紹介し、アップサイクル製品の紹介をする英文の内容を正しく理解することができる。 b: 自分の住んでいる地域や、おすすめのアップサイクル製品を紹介した英文を正しく読み取り、その内容を理解した上で、それに対する返答・応答や質問が適切かどうかを判断することができる。 c: モデル会話の人物になりきって、自分の住んでいる地域や、おすすめのアップサイクル製品を紹介した英文を読み取り、それぞれの内容を理解しようとしている。	定期考査・ 小テスト
		話すこと （やり取り）	a: 仮定法と接続詞の用法を正確に理解し、身近な出来事を、基本的な語句を用いて、伝え合う技能を身につけている。会話している相手の言う内容も正確に理解することができる。 b: 身につけた仮定法や接続詞の知識・技能を活用し、身近な出来事や、自分の考えなどを整理して、会話している相手に伝わるように、表現することができる。 c: 自分が話したいと思っている内容が相手に伝わるように、積極的に会話を続けようとしている。 相手の話す内容や質問に対して、きちんと耳を傾け、適切な相づちをうちながら、正確に伝わるまで根気よく答えたり、聞き返したりしている。	インタビュー テスト
		話すこと （発表）	a:仮定法・接続詞に関する知識を活用し、自分のアイデアを紹介する際に、正確に情報が伝わるようまとまった内容を話すことができる。 b:自分のアイデアを紹介するために問題点や解決策などの情報を整理し、わかりやすい英語で表現し、話すことができる。 c: 自分のアイデアを紹介するために問題点や解決策などの情報を整理し、わかりやすい英語で表現し、前向きに根気よく話そうとしている。	プレゼン テーション
		書くこと	abc:仮定法・接続詞の用法を正確に理解している。仮定法・接続詞に関する知識を活用し、地域や学校をよりよくするためのアイデアやおすすめのアップサイクル製品を紹介する際に、正確に情報が伝わるようまとまった内容を書くことができる。地域や学校をよりよくするためのアイデアを紹介するために、問題点や解決策などの情報を整理し、またおすすめのアップサイクル製品を紹介するために、原材料や特徴などの情報を整理し、英語表現をわかりやすくしようと努めながら、まとまりのある文を根気よく書こうとしている。	定期考査・ 小テスト
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度